

金剛山ブナ希少個体群保護林における山腹崩壊復旧工事の進捗状況について

これまでの経過

平成29年10月

台風21号による大規模な山腹崩壊

平成30年度

委員会了解の上、応急的な土石流安全対策工(土石流対策フェンス)を実施

※工事用のモノレールを設置

令和元年度

崩壊地箇所復旧工事の設計を実施

令和3年2月

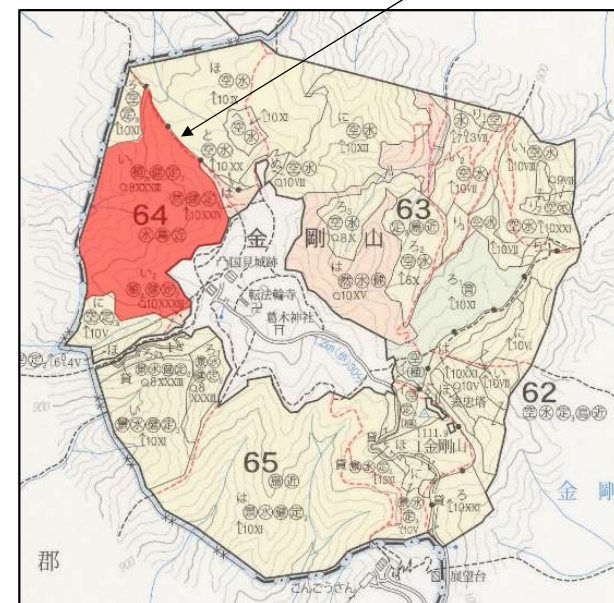
令和3年度からの工事着手予定について各委員へメールにてご連絡

保護林の概要

- 所在地 奈良県御所市(金剛山国有林)
- 面積 16.21ha
- 保護対象種 ブナ
- 林分状況

ブナ、ナラ、スギ等の成木が点在する中に、ミツバツツジ、リョウブ、ネジキ等の小灌木が生育する天然林であり、一部の箇所ではニリンソウの群落等も見られる。

保護林の区域

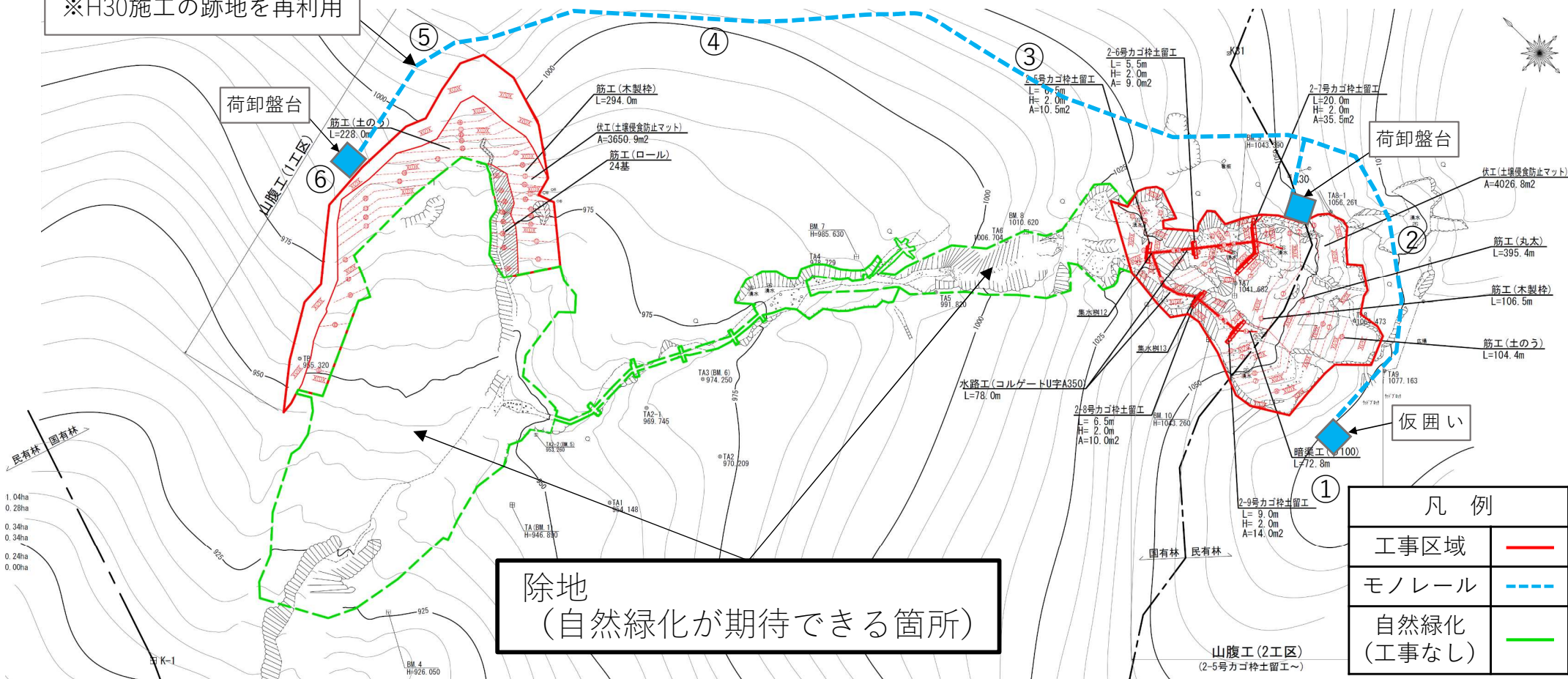


工事計画の変更について

- 当初計画では崩壊地全区域を施工予定としていたが、自然緑化が見込まれる残存木のある区域は除地とし、崩壊地源頭部と侵食がみられる溪流部の一部に区域を見直し
- 資材運搬のためのモノレールは、平成30年度施工の跡地を利用し、極力伐採を避けて設置

令和3年度復旧工事の概要

モノレール運搬 L=415.0m
※H30施工の跡地を再利用



※丸付き数字は次ページの写真番号と対応

対策の基本方針

- 適切な山腹工を配置することにより崩壊斜面を安定させ、崩壊の拡大を防止するとともに、斜面の侵食を防止する。
- 崩壊地内に土留工を導入することにより、斜面に堆積している不安定土砂を固定する。
- 緑化工においては外部からの種子導入は行わない。



仮設工(モノレール)設置箇所 の 林内状況



① モノレール始点



② モノレール設置場所



③ モノレール設置場所



④ モノレール設置場所



⑤ モノレール設置場所



⑥ 荷卸盤台設置場所